

答辞

桜の蕾も膨らみ始め、春の訪れを感じる今日の佳き日、私たち3年生は無事に卒業の日を迎えることが出来ました。本日は、このような厳粛かつ盛大な卒業式を挙げて頂き、卒業生一同心より感謝申し上げます。また、校長先生をはじめ、来賓の方々、在校生、多くの方々からのお祝いの言葉を賜りましたこと厚く御礼申し上げます。

3年前の入学式、ここで新入生代表の挨拶をしたことを今でも鮮明に覚えています。真新しい制服に身を包み、長い長い登校坂を、不安と希望を胸に登ってきたことも、まるで昨日のことのように感じられます。

入学したばかりで、新しい仲間との生活や階段の多い複雑な校舎に戸惑いながらも、先生方や先輩方のおかげで、西高での生活にすぐに慣れることが出来ました。ユ－モア溢れる先生方との授業。勉学に取り組む楽しさを知りました。

2年生の時には、全国高等学校総合文化祭やオランダ青少年交流会、唐津検定など印象深い様々な行事に関わることが多くありました。地元唐津の魅力を再発見するよい機会にもなりました。

1月の修学旅行では、長野でのスキーや東京観光。あっという間の修学旅行でしたが、友達との絆がさらに深まり、とても楽しい時間を過ごすことが出来ました。

その後新型コロナウイルスの感染が拡大し、世界が大きく変わってしまいました。3年生になるとすぐに2度目の臨時休校。当たり前のように広がっていた私たちが未来が大きく変化しました。インターハイや甲子園、県総体の中止。そして、SS杯開催決定の知らせ。私達のために、多くの方々が尽力して下さり、想いの詰まった最後の大会となりました。

そして高校生活最後の双松祭。話し合いを幾度となく重ね、1日だけの双松祭開催が決定しました。

時には思うように進まないこともありましたが、新しい双松祭を創り上げようという同じ想いで、準備・練習に励みました。当日は雨予報だったものの、予報に反し天気も徐々に回復しました。文化部の見事なパフォーマンス、仮装玉入れやうずしおリレー、体育館での展示。応援合戦では、壱区、弐区の2団編成となったものの、参区の舞を各団上手く取り入れ、今までにない迫力のある舞と団席の息の合ったパネルを見ることが出来、感動しました。1, 2年生、生徒会、そして先生方をはじめ、保護者の皆様、地域の皆様の支えのもと素晴らしい双松祭となりました。

双松祭も終わり、受験モード。それぞれが進路実現のために受験へと気持ちを切り替えました。不確定なことが多く、どう進んで行ってよいのか分からなくなりそうでしたが、学年主任の江口先生をはじめ、多くの先生方のサポートがあり頑張ることが出来ました。渡り廊下に貼ってある先生手作りの予定表。多くの情報が錯綜する中、私たちの道しるべとなりました。

夜遅くまで机に向かう日々。そんな私たちを優しく見守ってくれた家族。進路で悩むことがあれば、真摯に相談にのってください、分からないところがあれば丁寧に教えてくださる先生方。小論文や面接指導では、多くの先生方にご指導頂きました。先生方の熱心な御指導のおかげで、進路実現のために頑張ることが出来ました。

変化の絶えない現代社会。まもなく東日本大震災から10年の今年。私たちはこれから多くの困難と向き合うことになるでしょう。「師弟同行」のもと、先生方と学び、友と互いに高めあった日々を忘れず、自ら学び続け、多くの人々と互いに助け合

い将来を生き抜いていきます。

在校生の皆さん。これから、楽しいことも辛いこともたくさんあると思います。仲間と互いに助け合いこれからの西高を創り上げて下さい。また、優しく、時には厳しく私達を指導して下さいました先生方。3年間本当にありがとうございました。そしてこれまで18年間、私たちの成長を見守り、育ててくれた保護者の皆様。今日、無事に卒業を迎えることが出来ました。今まで本当にありがとうございました。まだまだ未熟な私達ですが、これからもどうぞよろしくお願い致します。

3年間ともに過ごしてきたみんな。当たり前のように過ごしてきた高校生活も今では忘れられない特別な日々です。本当に楽しい時間をありがとうございました。

最後になりますが、ご臨席賜りました来賓の方々、保護者の皆様、本日は誠にありがとうございました。これからの唐津西高校の益々の発展と皆様のご健勝・ご活躍をお祈りし、答辞とさせて頂きます。

令和3年 3月1日

卒業生代表 神野拓斗